

北山索道 支柱

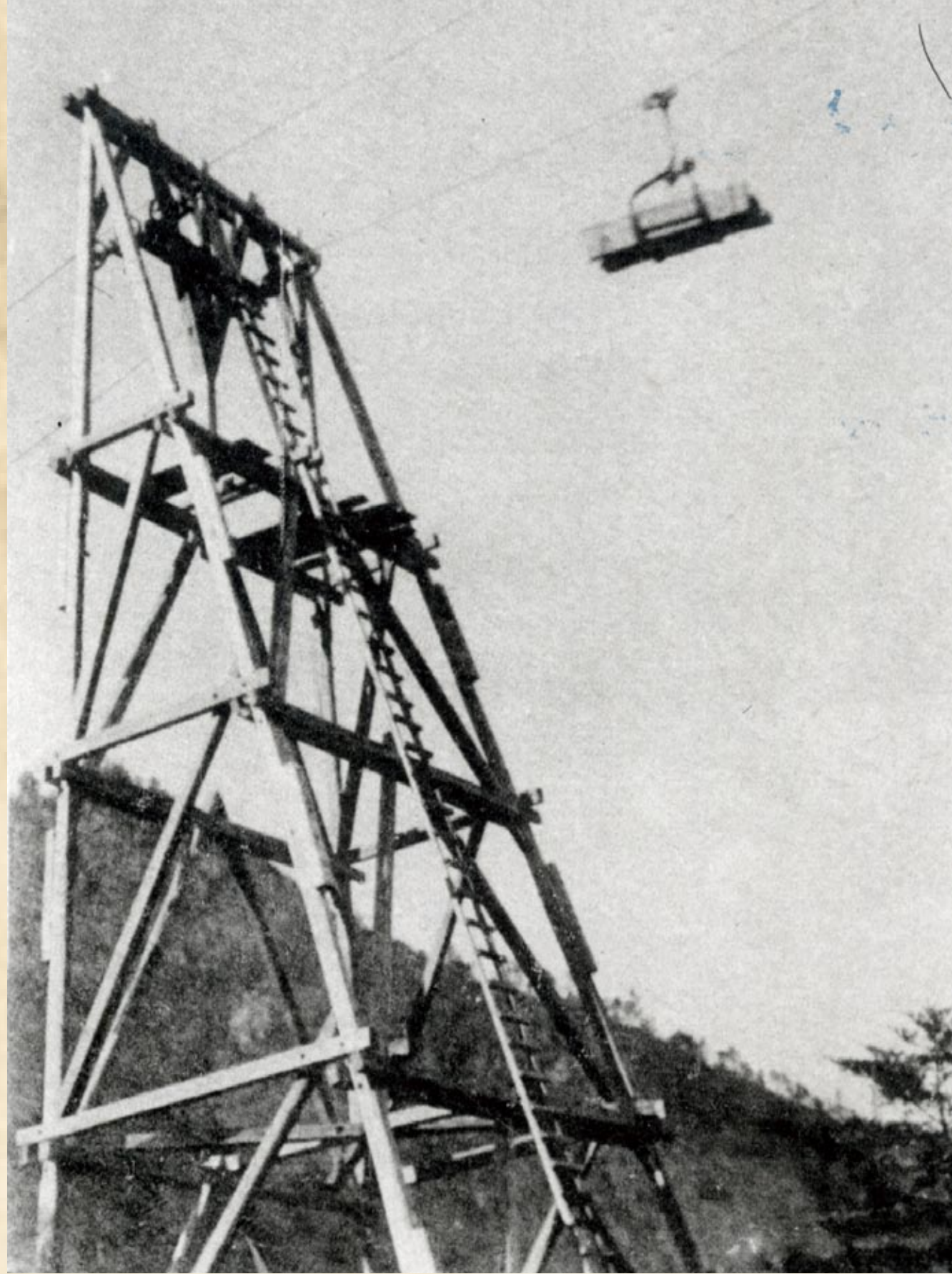


図 4-6 北山索道拡幅支柱

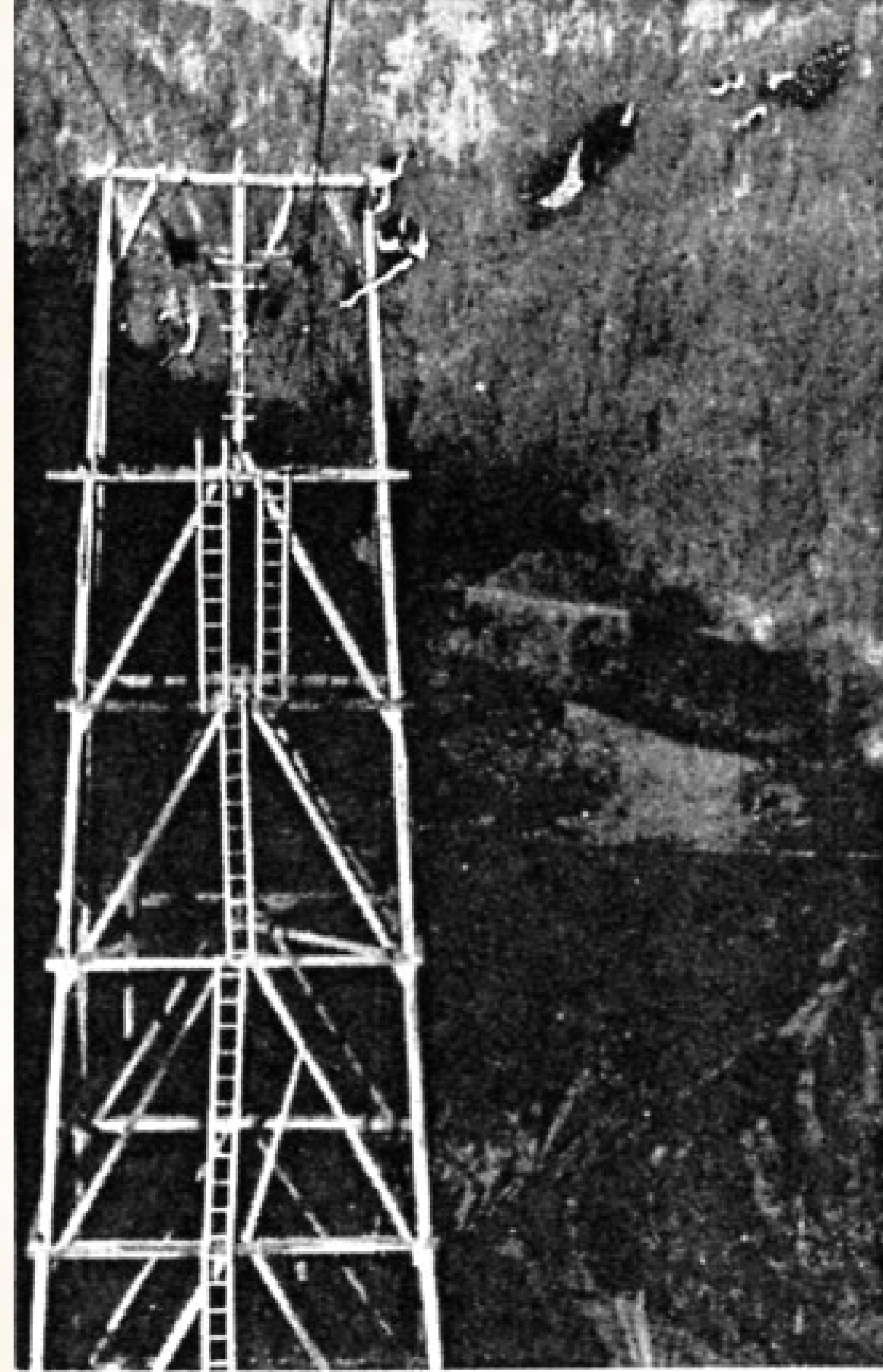
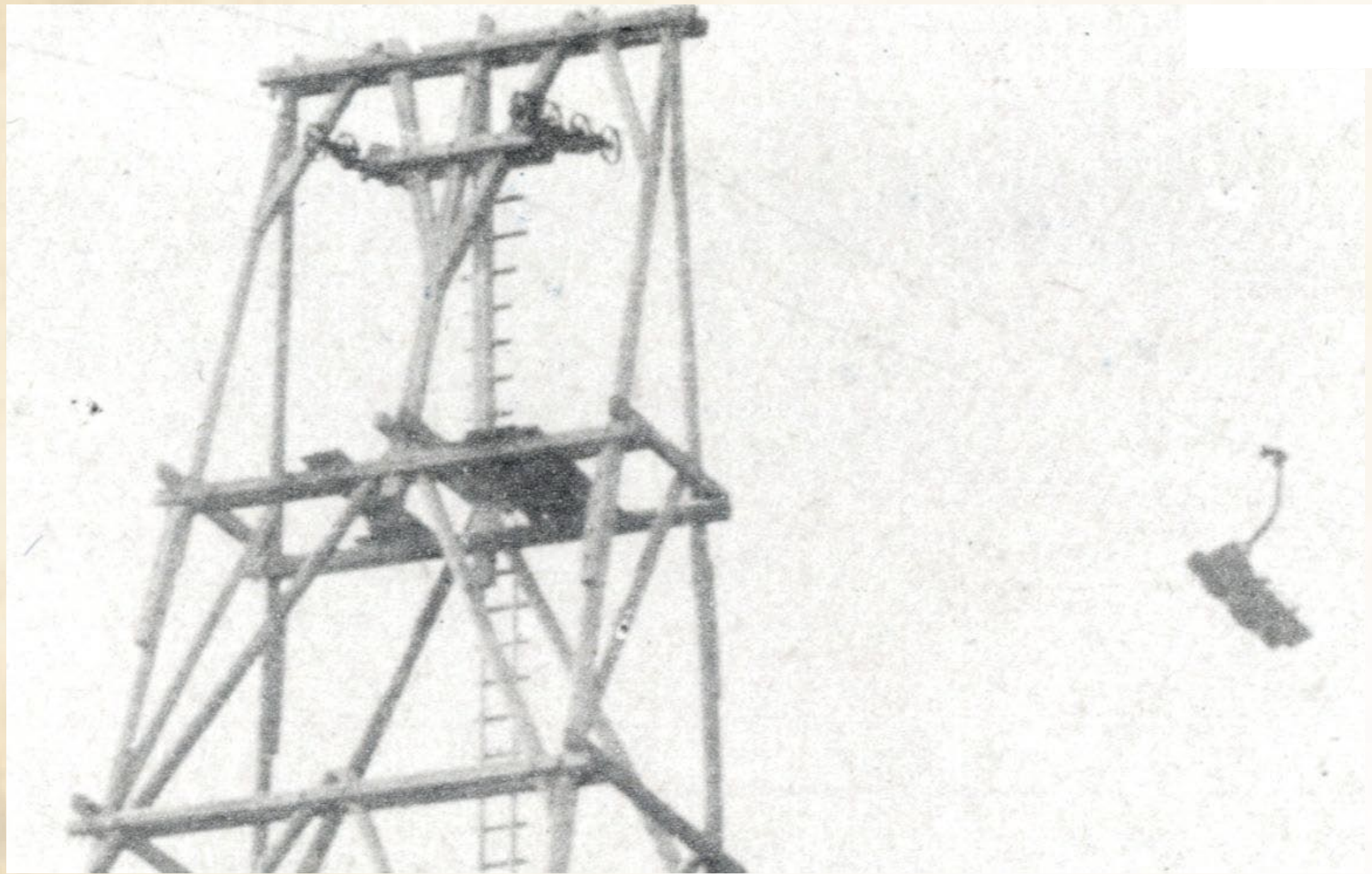


図 4-7 北山索道傾斜支柱

拡幅支柱

傾斜支柱

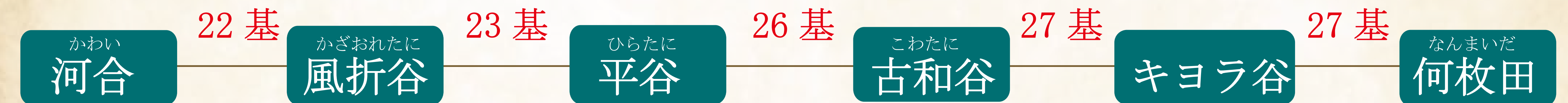


キョラ谷付近第 24 号支柱上部拡大

尾鷲尋常高等小学校編の『郷土教育資料』によると、支柱について以下の記述がある。
「北山索道の支柱は、鳥居形または方錐形^{とりい ほうすい}で 5 寸角（約 15 cm / 1 寸＝約 3 cm）～ 8 寸角（約 24 cm）のスギ材またはヒノキ材を使用。また、地中へは支柱の大小に応じて 4 尺（約 121 cm / 1 尺＝30.3 cm）を埋め込み、地中にかんぬきを入れて、石またはセメントを以って不動の装置をなす」と記されている。

支柱の数と高さ

合計 125 基



(数)	河合～風折谷	風折谷～平谷	平谷～古和谷	古和谷～キョラ谷	キョラ谷～何枚田
	22 基	23 基	26 基	27 基	27 基

(高さ)	河合～風折谷	風折谷～平谷	平谷～古和谷	古和谷～キョラ谷	キョラ谷～何枚田
	4.5m ～ 24.2m	4.5m ～ 27.0m	4.5m ～ 21.8m	4.5 ～ 26.7m	4.5m ～ 25.5m

支柱の間隔

- 支柱最大間隔 約 737m(2431 尺)
- 支柱最少間隔 約 7.6m(25 尺)
- 支柱平均間隔 約 151m(4 9 6 尺 7 寸)